

日本土壤微生物学会 2005 年度大会のお知らせ

日時：2005 年 6 月 11 日（土） シンポジウム，懇親会
12 日（日） 一般講演，ポスター発表，総会
13 日（月） エクスカーション

場所：名古屋大学 野依記念学術交流館
（名古屋市千種区不老町 名古屋大学東山キャンパス
名古屋市営地下鉄名城線名古屋大学駅下車〔出口 2〕徒歩 5 分）

シンポジウム

「農業生産と微生物多様性」

1. 分子生物学的手法からみた根圏における微生物多様性： 境雅夫（九州大学）
2. リン脂質脂肪酸からみた根圏における微生物多様性： 岡紀邦（中央農業総合研究センター）
3. 病害防除と微生物多様性： 星野裕子（農業環境技術研究所）
4. 土壌汚染と微生物多様性： 片山新太（名古屋大学）
5. 土壌機能と微生物多様性： 豊田剛己（東京農工大学）

市民向け公開シンポジウム（6 月 11 日の午前 9 時 30 分より 12 時まで開催）

「地球環境を支える土の微生物」 一生ごみ・リサイクルを考える

1. 地球の環境と土の微生物： 木村真人（名古屋大学）
2. 食品循環資源のバックアップとしての覆土助材化： 松藤康司（福岡大学）
3. 家庭菜園での堆肥作りを考える： 藤原俊六郎（神奈川県農業総合研究所）
4. 地域での生ごみ（有機物）のリサイクル「世田谷を事例にして」： 後藤逸男（東京農業大学）

一般講演

別紙の通り 47 題の一般講演（口頭・ポスター発表）を行います。口頭発表は講演 12 分，討議 3 分です。ポスター発表の討論デューティタイムは 6 月 12 日（日）16：00～17：00 です。それぞれの一般講演の発表要領は，事務局より発表者に電子メールにてご案内いたします。

エクスカーション「知多と三河のコンポストと農業を巡る旅」

6 月 13 日（月）に，野菜茶業研究所武豊野菜研究拠点，衣浦ユーティリティおよび近隣現地の見学会を予定しています。主な見学先と行程は以下の通りです。費用は昼食込みで 3,000 円です。

名古屋大学 9：00 出発

1. 野菜茶業研究所 --- 施設野菜栽培研究、トマト青枯病防除研究
2. 衣浦ユーティリティ（株） --- 食品コンビナート排水浄化汚泥のコンポスト化施設
3. 安城市近郊 --- 野菜・果樹の栽培状況、剪定くずコンポスト化施設

名古屋駅 16：30 頃解散

懇親会

名古屋大学内のレストランで，6 月 11 日（土）18：30 より行います。

宿泊

各自で御予約下さい。愛知万博開催中のため，お早めの手配をお勧めします。

2005 年 2 月 17 日中部国際空港セントレアが開港しました。空港と名古屋市内間の交通については，<http://www.centrair.jp/index.html> をご参照下さい。

参加費，懇親会費等の振込・支払方法

4 月 28 日まで振込：会員 4,000 円，非会員 5,000 円，
学生 2,000 円（会員，非会員とも）

同封の専用振込用紙で振り込み下さい。振込用紙が必要な方は大会事務局までご請求下さい。また，郵便局備え付けの振込用紙でも払い込みできます。

振込先：土壤微生物学会名古屋大会 口座番号：00880-4-148612

なお、4月末で郵便振替口座を閉鎖しますので、それ以降は学会当日受付にてお支払い下さい。また、発表者は会員に限りますので、非会員で発表を申し込まれた方は入会手続きをお願いします。2005年度会費未納の方は発表できませんので、至急会費の納入をお願いします。

参加費等の支払とともに、同封の参加申込用紙を大会事務局宛に郵送またはFAXによりお送り下さい。

4月29日以降：会 員 5,000円、非会員 6,000円、
学 生 2,500円（会員、非会員とも）

懇親会費 5,000円（学生は3,500円）

エクスカーション 3,000円（5月31日までに同封の参加申込用紙によりお申し込み下さい）

託児サービス

御希望の方は5月6日までに、大会事務局宛にご連絡下さい。

大会事務局

名古屋大学大学院生命農学研究科 土壤生物化学研究分野

大会委員長 浅川 晋 事務局長 木村 真人

464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL：052-789-4135 FAX：052-789-4136

E-mail：dobi2005@agr.nagoya-u.ac.jp

日本土壤微生物学会 2005 年度大会プログラム

6月11日(土)

13:00~18:00 シンポジウム

「農業生産と微生物多様性」

S-1 分子生物学的手法からみた根圏における微生物多様性

境 雅夫(九州大学)

S-2 リン脂質脂肪酸からみた根圏における微生物多様性

岡 紀邦(中央農業総合研究センター)

S-3 病害防除と微生物多様性

星野 裕子(農業環境技術研究所)

S-4 土壌汚染と微生物多様性

片山 新太(名古屋大学)

S-5 土壌機能と微生物多様性

豊田 剛己(東京農工大学)

18:30~20:30 懇親会

6月12日(日)

一般講演(口頭発表)

9:00 O-1 タイの *Vigna* 属植物に根粒を形成する *Bradyrhizobium* 属根粒菌の特性解明

○横山正¹・友岡憲彦²・Vaughan DA¹(¹東京農工大, ²農生資研)

9:15 O-2 ダイズ根粒菌の N₂O パラドックス

○南澤究¹・千葉芳里¹・平山潤太¹・鮫島玲子²(¹東北大, ²静岡大)

9:30 O-3 根粒菌の環境ストレス耐性と共生能の両方に重要な転写因子 RpoH1 の機能解析

○三井久幸・南澤究(東北大)

9:45 O-4 全ゲノム塩基配列情報に基づくダイズ根粒菌 *Bradyrhizobium japonicum* のエネルギー獲得系および芳香族化合物分解系の解析

○伊藤尚文・増田幸子・三井久幸・南澤究(東北大)

10:00 O-5 東海丘陵要素モンゴリナラおよびその林床植物に感染するアーバスキュラー菌根菌

後藤英明・○磯井俊行・村山重俊(名城大)

10:15 O-6 酸性硫酸塩土壌に侵入したパイオニア植物根圏に生息するアーバスキュラー菌根菌の多様性

○宮川祥江・江沢辰広・大崎満(北海道大)

10:30 休憩

10:45 O-7 スترون(ランナー)形成性クローナル植物の繁殖戦略に及ぼす菌根形成の影響

○松田欣也・江沢辰広(名古屋大)

11:00 O-8 リン獲得における有機酸分泌と菌根形成の相乗効果ーAI誘導性リンゴ酸分泌系統コムギを用いた解析ー

○岡本美輪・江沢辰広・小山博之・大崎満(北海道大)

11:15 O-9 菌根菌 *Gigaspora margarita* の発芽菌糸におけるポリリン酸合成

姚青¹・○大友量¹・斎藤雅典²(¹畜草研, ²農環研)

11:30 O-10 バイオマスリンの土壌肥沃度評価指標としての可能性

○杉戸智子・吉田光二(北海道農研セ)

11:45 O-11 超高温・好気発酵法による未利用有機廃棄物の新資源化技術ー原子力発電所の冷却管に群生するムラサキ貝の堆肥化ー

○金澤晋二郎・柳田裕紹(九州大)

12:00 昼食

13:00 総会

14:00 O-12 カバークロップが土壌微生物相に及ぼす影響について

○宝昭日格図・小松崎将一・佐藤嘉則・太田寛行・笠原康裕(茨城大)

- 14:15 O-13 土壤消毒後の土壤機能の回復に及ぼす有機物連用の効果
○和田さと子・豊田剛己（東京農工大）
- 14:30 O-14 水稻の根への糸状菌の侵入および同菌相の特徴
○古屋廣光¹・椿啓介²・藤晋一¹・内藤秀樹¹（¹秋田県大,²東京農大）
- 14:45 O-15 シクラメン萎凋病菌 *Fusarium oxysporum* f. sp. *cyclaminis* のシクラメン体内成分に対する応答
○藤原伸介¹・徐相規²・村野宏達²（¹中央農研セ,²筑波大）
- 15:00 O-16 ハクサイ根こぶ形成時における宿主のサイトカイニン生合成・代謝関連遺伝子の発現変動
○安藤杉尋¹・對馬誠也²・蒲池伸一郎¹・小長谷賢一¹・萩尾高志¹・小川泰一¹・田部井豊¹
（¹農生資研,²農環研）
- 15:15 O-17 各種薬剤のダイズ黒根腐病防除効果
○仲川晃生（中央農研セ）

一般講演（ポスター発表）

16:00～17:00

- P-1 嫌氣的ポリ塩化ビフェニル分解に関与する微生物の解明
○馬場大輔・片山新太（名古屋大）
- P-2 好気・嫌気土壌条件下におけるフェノール誘導体分解微生物群の解析
○柴田敦司¹・豊田剛己²・井上康¹・片山新太¹（¹名古屋大,²東京農工大）
- P-3 ビスフェノールA分解菌 AO-1 株の特性ービスフェノールA分解時のエストロゲン活性の推移ー
○大志万浩一・堤祐司・西田友昭（住友林業（株））
- P-4 *Mesorhizobium loti* の nod 遺伝子発現を誘導する物質の探索
○小島克洋・横山正・有馬泰紘（東京農工大）
- P-5 *Azospirillum lipoferum* の窒素固定活性発現におよぼす土壌粒子吸着と土壌有機物の影響
○小澤隆司・稲葉信二・河内奈々子（大阪府大）
- P-6 糸状菌エンドファイト *Penicillium* sp. EU0013 による宿主植物への窒素供給の可能性
○手嶋さざり・坂本一憲（千葉大）
- P-7 寒冷荒廃地に定着する先駆植物群落の栄養獲得に対する土壌微生物の寄与について
○立石貴浩・中道加奈子・西野哲哉・溝田智俊（岩手大）
- P-8 高濃度重金属集積地におけるオギのアーバスキュラー菌根共生
○大場広輔・神谷貴文・金子信博（横浜国大）
- P-9 アーバスキュラー菌根菌 *Archaeospora leptoticha* およびその類縁菌の rDNA-ITS 領域に基づく系統解析
○西村伊吹¹・澤木弘道²・篠崎直人³・吉田重信⁴・對馬誠也⁴・太田寛行¹・斎藤雅典⁴
（¹茨城大,²産総研,³（株）カゴメ,⁴農環研）
- P-10 菌根菌の地域個体群に関する分子生態学的方法の検討
○広瀬大・徳増征二（筑波大）
- P-11 沖縄県の主要土壌における DNA 抽出条件の検討
○宮丸直子¹・須賀有子²・儀間靖¹・与那嶺介功¹・亀谷茂¹（¹沖縄農試,²近中四農研セ）
- P-12 土壌還元消毒後の土壌微生物群集評価
○峯村晃¹・前田征之²・森川千春³・横山和成⁴
（¹岐阜中山間農技研,²新潟農総研,³石川農総研セ,⁴北海道農研セ）
- P-13 土壌還元消毒法の殺菌作用に対する有機酸の関与
○門馬法明¹・Peter Simandi²・宍戸雅宏¹（¹千葉大,²Tessedik Samuel College, Hungary）
- P-14 二重染色による根こぶ病菌休眠胞子の土壌中での発芽ポテンシャル評価
○丹羽理恵子・江沢辰広・大崎満（北海道大）
- P-15 アブラナ科野菜根こぶ病菌に及ぼす pH の影響
○村上弘治・畔柳有希子（野菜茶業研）
- P-16 長野県中信地域のレタス栽培ほ場におけるほ場管理と根腐病菌密度
○吉田清志¹・油井敏弘²・磯村由紀²・安田正樹²・矢ノ口幸夫¹（¹長野中信農試,²松本農改セ）

- P-17 有機物施用によるレタス根腐病防除の試み
○甘利誠¹・豊田剛己¹・吉田清志² (¹東京農工大, ²長野中信農試)
- P-18 組換え根圏細菌による土壌病害の作物病害防除
大野雅弘¹・○藤井毅²・長谷部亮²・中島雅己¹・阿久津克己¹ (¹茨城大, ²農環研)
- P-19 各種食品廃棄物を基質とした *Bacillus subtilis* NB22 の培養特性とその土壌病害抑制効果
○横田健治・平井静香・後藤逸男 (東京農大)
- P-20 乳牛ふんコンポスト化過程における土壌臭の推移
○飯村潤也・小川裕次・岡本英竜・宮川栄一 (酪農学園大)
- P-21 乳牛ふん尿の液状コンポスト化における土壌細菌の定着性
○岡本英竜・新堂ゆい・宮川栄一 (酪農学園大)
- P-22 液状家畜ふん尿に由来する非土壌性細菌の畑土壌での動態
○渡邊克二¹・新美洋¹・境雅夫² (¹九州沖縄農研セ, ²九州大)
- P-23 家畜ふん尿由来の有機物が土壌微生物群集に及ぼす影響
○西田有香・岡本英竜・宮川栄一 (酪農学園大)
- P-24 キノンプロファイル法による有機物連用圃場の土壌微生物群集構造解析
○浦嶋泰文・中嶋美幸・金田哲・村上敏文・堀兼明 (東北農研セ)
- P-25 有機物施用による畑土壌の微生物活性と地力窒素の変化
○森岡幹夫・塩野宏之・熊谷勝巳 (山形県農試)
- P-26 家畜スラリーの投入が土壌団粒構造の発達と大型繊毛虫等原生生物の動態に及ぼす影響
○橋本知義¹・河野伸之¹・三好孝和²・島野智之²・河知圭介³・高橋忠夫³
(¹九州沖縄農研セ, ²東北農研セ, ³西九州大)
- P-27 水田土壌に施用された稲わら堆肥に生息する真核生物群集の解析
畑本将嗣¹・棚橋孝典¹・村瀬潤¹・松家一夫²・林元樹²・木村真人¹・○浅川晋¹
(¹名古屋大, ²愛知農総試)
- P-28 水田土壌中の植物遺体に生育するメタン生成古細菌群集
○松山倫也¹・中島泰則²・松家一夫³・木村真人¹・浅川晋¹
(¹名古屋大, ²愛知農総試, ³愛知安城農技セ)
- P-29 Long-term effects of residue incorporation on soil microbiological properties in a rice-wheat system in Fukuoka, Japan
○Tirol-Parde A^{1,2}・Tsuchiya K³・Inubushi K²・Ladha JK¹ (¹IRRI, ²千葉大, ³九州沖縄農研セ)
- P-30 土壌微生物バイオマス窒素形成を活用した硝酸性窒素溶脱抑制
○戸来義仁・橋本真穂・長岡俊徳・河野憲治 (広島大)